

2026年4月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2025年8月29日

上場会社名 東和フードサービス株式会社

コード番号 3329 URL <https://www.towafood-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 岸野 誠人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 長谷川 研二

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5843-7666

(百万円未満切捨て)

1. 2026年4月期第1四半期の業績(2025年5月1日～2025年7月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年4月期第1四半期	3,279	4.0	231	0.1	244	7.3	149	7.6
2025年4月期第1四半期	3,153	4.3	231	8.0	227	13.6	138	15.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年4月期第1四半期	18.47	
2025年4月期第1四半期	17.16	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年4月期第1四半期	9,108	7,238	79.5
2025年4月期	9,169	7,171	78.2

(参考)自己資本 2026年4月期第1四半期 7,238百万円 2025年4月期 7,171百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年4月期		10.00		10.00	20.00
2026年4月期					
2026年4月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)2026年4月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。今後配当予想が可能となった段階で速やかに開示いたします。

3. 2026年 4月期の業績予想(2025年 5月 1日～2026年 4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,300	0.2	410	11.1	420	10.4	250	9.5	30.98
通期	12,800	0.1	860	19.1	900	18.1	550	23.7	68.16

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年4月期1Q	8,186,400 株	2025年4月期	8,186,400 株
期末自己株式数	2026年4月期1Q	116,851 株	2025年4月期	116,851 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年4月期1Q	8,069,549 株	2025年4月期1Q	8,069,549 株

添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間の業績は、売上高32億79百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益は2億31百万円（前年同期比0.1%増）、経常利益は2億44百万円（前年同期比7.3%増）、四半期純利益につきましては、1億49百万円（前年同期比7.6%増）となりました。

外出機会にあわせたメニュー・価格政策で来店客数増に繋げ、今第1四半期累計期間も最高売上を更新しております。6月中旬より冷たいスパゲッティを中心とした夏季限定メニュー投入に加え、晴天、高温が続いたことで、椿屋珈琲、ダッキードックにおいてはカフェ・ドリンク需要が、同様にイタリアンダイニングドナにおいては、早い時間からお酒の需要が高まり客数を押し上げました。

利益面に関しましては、原材料価格高騰のほか、家賃上昇、物価高騰、賃上げによる人件費増加等の影響から、原価率が前年同期比0.3pt上昇しており前年同期比5.0%増、販売費及び一般管理費も前年同期比4.0%増となっております。付加価値の提供に必要な投資を優先し、生産性向上を図ることで利益確保に努めてまいります。

椿屋珈琲グループでは、接客技術の向上に加え、サイフォン抽出に関する知識と技術を研修にて学び、ゆとりとくつろぎの60分の提供に努めております。

6月に開催されたジャパンサイフォニストチャンピオンシップ予選では、椿屋珈琲焙煎所所属の千田チーフが決勝大会へ進出を決めました。また2023年のジャパンサイフォニストチャンピオンシップ決勝で優勝した椿屋珈琲グループの塚本マネージャーは日本代表としてワールドサイフォニストチャンピオンシップへ出場いたします。

【新規創店2店舗】

2025年10月、ぱすたかん池袋店、椿屋茶房大宮店がグランドオープンいたします。

ぱすたかん池袋店は池袋サンシャインシティ 味の小路にて31年間営業しておりましたが、10月1日には席数102席と4割以上規模を拡大し、池袋サンシャインシティアルパ3階レストランフロアにオープン、椿屋茶房大宮店は、10月21日に大宮そごう1階の専門店街「OSS24」にオープンいたします。大宮エリア初の椿屋珈琲の店となりますが、今期推進している教育・研修プログラムでは、サービス品質の均一化に加え、お客様の体験価値の向上と付加価値の提供が出来るようトレーニングをすすめております。ぜひお立ち寄りください。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、前事業年度末に比べて50百万円減少し、52億21百万円となりました。これは、現金及び預金が84百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて10百万円減少し、38億87百万円となりました。これは、建物（純額）が15百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて61百万円減少し、91億8百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前事業年度末に比べて1億21百万円減少し、11億60百万円となりました。これは、未払賞与が1億6百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて6百万円減少し、7億9百万円となりました。これは、退職給付引当金が5百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて1億28百万円減少し、18億69百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前事業年度末に比べて66百万円増加し、72億38百万円となりました。これは、四半期純利益の計上1億49百万円があったことにより、利益剰余金が68百万円増加したことなどによります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月30日に公表いたしました、2026年4月期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年4月30日)	当第1四半期会計期間 (2025年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,358,423	4,274,169
売掛金	223,018	233,690
S C 預け金	311,302	338,180
商品及び製品	53,128	51,930
原材料及び貯蔵品	145,827	149,838
前払費用	121,251	134,872
その他	59,214	39,095
貸倒引当金	△559	△557
流動資産合計	5,271,607	5,221,220
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	820,130	805,016
構築物（純額）	86	75
機械及び装置（純額）	63,824	63,346
工具、器具及び備品（純額）	242,069	245,939
土地	530,000	530,000
リース資産（純額）	11,928	11,019
建設仮勘定	—	4,710
有形固定資産合計	1,668,039	1,660,107
無形固定資産	45,483	43,103
投資その他の資産		
投資有価証券	62,272	61,051
出資金	330	330
従業員に対する長期貸付金	285	190
長期前払費用	17,030	15,229
繰延税金資産	304,010	304,263
差入保証金	404,508	404,508
敷金	1,395,950	1,398,310
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,184,386	2,183,883
固定資産合計	3,897,909	3,887,094
資産合計	9,169,516	9,108,315

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年4月30日)	当第1四半期会計期間 (2025年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	284,087	298,986
リース債務	3,999	3,999
未払金	535,644	453,361
未払賞与	106,990	—
未払費用	78,237	75,133
未払法人税等	144,154	91,227
未払消費税等	105,793	144,315
契約負債	6,322	6,812
預り金	10,618	11,184
前受収益	3,105	3,087
賞与引当金	—	69,000
ポイント引当金	3,024	3,014
その他	135	106
流動負債合計	1,282,114	1,160,228
固定負債		
リース債務	9,249	8,250
退職給付引当金	392,781	387,515
資産除去債務	292,489	292,489
その他	20,984	20,984
固定負債合計	715,505	709,239
負債合計	1,997,619	1,869,468
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	1,306,350	1,306,350
利益剰余金	5,891,018	5,959,345
自己株式	△100,735	△100,735
株主資本合計	7,146,632	7,214,959
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	25,264	23,887
評価・換算差額等合計	25,264	23,887
純資産合計	7,171,897	7,238,847
負債純資産合計	9,169,516	9,108,315

（2）四半期損益計算書

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自 2024年5月1日 至 2024年7月31日）	当第1四半期累計期間 （自 2025年5月1日 至 2025年7月31日）
売上高	3,153,981	3,279,324
売上原価	842,919	885,422
売上総利益	2,311,062	2,393,901
販売費及び一般管理費	2,079,622	2,162,176
営業利益	231,439	231,724
営業外収益		
受取利息	111	2,843
受取配当金	1,186	1,131
受取家賃	8,384	8,419
助成金等収入	1,300	—
その他	866	1,738
営業外収益合計	11,849	14,132
営業外費用		
不動産賃貸原価	1,170	1,207
助成金返還損	14,114	—
その他	279	257
営業外費用合計	15,564	1,464
経常利益	227,724	244,392
特別損失		
固定資産除却損	—	312
店舗閉鎖損失	413	—
減損損失	—	3,655
その他	3,680	—
特別損失合計	4,093	3,968
税引前四半期純利益	223,631	240,423
法人税等	85,146	91,401
四半期純利益	138,484	149,022

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産等に係る償却費を含む。）は次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 （自 2024年5月1日 至 2024年7月31日）	当第1四半期累計期間 （自 2025年5月1日 至 2025年7月31日）
減価償却費	76,850千円	70,521千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間（自 2024年5月1日 至 2024年7月31日）

当社は、フードサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期累計期間（自 2025年5月1日 至 2025年7月31日）

当社は、フードサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用

当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。